



## マ 手びねり陶芸教室 マイカップやマイ茶わんを作ろう！



▲ 自分だけのマイ器づくりに熱中する参加者

1月18日と29日に朝日地区センターで第1回手びねり陶芸教室が開かれ、7名が参加しました。初回はろくろを使い、材料の土を細長くこねながら重ね合わせ、茶わんやマグカップなどの器に形を整えていきました。第2回目は出来た器に鉄や銅、コバルトなどを含んだ釉薬をぬり仕上げました。窯で焼く時間は約10時間、火加減や温度の状況によって焼き上がりの色は微妙に変わります。どんなオリジナル作品が完成するか、皆さん楽しみにしている様子でした。



▲ 釉薬をぬり仕上げの工程に入る参加者



▲ 楽しく作れば、おいしさも倍増？

## 只 郷土料理教室 見の伝統料理に舌鼓

只見に伝わる伝統の郷土料理を作り、みんなで楽しく試食する郷土料理教室が、1月27日に只見地区センターで開かれ、町内の主婦の皆さん16名が参加しました。この日のメニューは里芋とカボチャのバラエティサラダ、すいとん汁、鮭のじゅうねん揚げの3品。参加者は約2時間かけて、おいしそうで、彩りも豊かな伝統料理を完成させ、調理の感想などを話しながらの試食会も行われました。この教室は今後、2月と3月に2回ずつ開かれます。

## 簡 木工教室 簡単な家具や小物入れづくりに挑戦！

明和地区センターで1月14日から毎週木曜日に開かれている木工教室には5名が参加、松の木材を利用し、自分で設計した本棚や引き出し式の小物入れなど、思い思いの家具作りに挑戦しています。カンナやノミ、電動ノコギリなどの大工道具を慣れない手つきで扱いながら、マイペースで作製されています。この教室は4回行われ、最終回には何よりも愛着心のある五つの家具が完成の予定です。



▲ 「むずかしいなあ」を連発の参加者

**緊**

## 第35回カルタ大会

張感が漂う真剣勝負、元気な声がホールに響いた

1月20日、元気な「はい」の声が見見保育所のホールに響き渡った。今年も保育所児34名が参加し新春のカルタ大会が開かれました。所長先生の読み上げるカルタを見つけると素早く反応し、手を思いっきり伸ばしていました。中には、思うようにカルタが取れず、泣いてしまう子もいるほどで、予想以上の真剣勝負に先生も少々緊張気味、最後の表彰式では1・2・3等とがんばり賞が贈られました。



▲ カルタを見つける反応の速さは大人顔負け

**お**

## 新春だんごさし

じいちゃん、おばあちゃんと一緒に

明和保育所では、1月13日に恒例の団子さしが行われ、保育所児とそのおじいちゃん、おばあちゃん約35名が、みんなで丸めた色とりどりの団子をさしたり、みかんをつるしたりして楽しみました。その後、保育所児の歌や踊りが披露され、孫のかわいらしい姿に大きな拍手を送っていました。また、けん玉やカルタ取りなどでおじいちゃん、おばあちゃんと触れ合った後、みんなで昼食にすいとん汁を食べました。



▲ 今日、じーちゃん・ばーちゃんが一緒に楽しいな～



▲ 雪下ろし作業に励む元気な野球部員

**冬**

## 只見高校野球部除雪ボランティア活動

場のトレーニングにも有効？

只見高等学校の野球部員とマネージャーなど10名で、1月17日に只見温泉保養センター屋根の雪下ろし作業を行いました。2メートル近く積もった大量の雪をスコップとスノーダンプを使い手際よく下ろしました。降雪時期は、ほとんど体育館での練習になる野球部員ですが、外での除雪作業も全身を使い、重い雪を動かすので、良いトレーニングにもなったと思います。ボランティア活動でも基礎体力づくりを欠かさない只高野球部です。

**お**

## 親子ソリのり

父さん・お母さんと滑るソリは最高！

朝日保育所の前に作られた大きな雪のすべり台で1月26日に、保育所参観の親子ソリのりが行われました。参加したお父さん・お母さんに抱っこして滑ったり、友達と一緒に滑ったり、雪だるまや小さなかまくらを作ったりと、色々な雪遊びで思い思いに楽しい時間を過ごしました。最後は、お父さん・



▲ お父さんと滑るソリはスピードが出て楽しいよ～

お母さんと手をつないで、みかん拾いゲームを行なった後、手作りのお弁当をみんなで食べました。